キャラクター名
栢沙　朱華（はくしゃ　しゅか）

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス バロール	ワークス	プログラマー	カヴァー	大学生
オプショナル	ブラム＝ストーカー	年齢	21	性別	女性
覚醒	忘却	衝動	加虐	初期侵食率	39 %
出自	複数の兄弟姉妹がいる	経験	殺傷	邂逅	同士

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0	1		2
感覚	2	0	0			2
精神	4	0	0			4
社会	1	1	0			2

HP	28
行動値	8
(非装備時)	8
戦闘移動	13
全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ			交渉		
回避			知覚	3		意志	6		調達	6	
運転：	2		芸術：			知識：	3		情報：ウェブ	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：手配師	
モバイルPC	
携帯電話	
夢鳴　舞（オリジナル）	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
妹	P　慈愛	N　恐怖		
夢鳴　舞(RB)	P　慈愛	N　不安		
夢鳴　舞(オリジナル)	P　友情	N　嫌悪		
霧谷　雄吾	P　尊敬	N 不信感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 16	残り財産P： 13

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
雲散霧消	4	4	オート	至近	範囲（選択）	自動		
効果：	HPダメージ（予定）を-Lv×5する							
赤河の支配者	4	2	オート	至近	自身	自動		
効果：	受ける（予定）のダメージを-〔1D+LV×2〕点する							
アスクレピオスの杖	3	2	メジャー	至近	単体	自動		
効果：	対象のHPを〔（LV）D+対象の浸食値÷10（端数切捨て）〕点回復する。							
グラビティガード	2	3	オート	至近	自身	自動		
効果：	ガード値を+（Lv）Dする							
孤独の魔眼	2	2	オート	至近	自身	自動		
効果：	対象：範囲の攻撃のはんていが行われる直前に使用。対象：単体にとし、自分一人に変更する。1シナリオにLv回まで使用可							
原初の黄（氷の城塞）	2	3	セットアップ	至近	自身	自動		
効果 :そのラウンドの間、あなたの受けるあらゆるHPダメージを-〔Lv×3〕する。戦闘移動、全力移動、離脱のいずれかを行った場合、この効果は失われる								
原初の白（異形の刻印）	6		常時	至近	自身	なし	80↑	
効果：	最大HPを+[Lv×5]する。浸食値によるレベルアップはしない							
赫き鎧	4	2	マイナー	至近	自身	自動		
効果：	使用時に［Lv×3］以下の任意のHPを消費する。そのシーンの間［消費防具したHP×2］の装甲値のを装備する							
盾なる力場	4	5	マイナー	至近	自身	自動		
効果：	そのシーンの間、ガード値[Lv×2]+5の武器を作成し、装備する。ガードすると3点のHPを失う。							
偏差把握	1		メジャー	視界	シーン（選択）	自動		
効果 :自身の周りにあるすべてのものがどこにあってどう動くのかを認識できる。この能力で隠れている者を見つける場合は、〈意志〉による判定を行うこと。								
効果：								
効果：								
効果：								

元一般人の大学生

自身がオーヴァードとして覚醒したときに共にいた妹に大けがを負わせている
その時の光景がトラウマとなっており、妹の存在とともに記憶の底に蓋をした。
現在は家族の意向により一人暮らしをしている

覚醒後は一時的にUGNに保護され、その時一緒になった夢鳴舞と知り合い、ペアとなる。
自身はUGNに所属せずに協力者として歩むことを選んだが、夢鳴舞からの協力依頼があれば、極力応じた。

自身のオーヴァードとしての能力は封じた記憶からのおぼろげな感覚から大切なものを守りたい、傷つけたくない
という感情が常にあり、防御に特化したものに伸ばした。

性格の基本は丁寧で温厚、基本的に敬語で話すが夢鳴舞に対しては唯一タメ口になる
たまに加虐的になったりする。（衝動がちらちら垣間見えてる）